

No. 1591

火の用心

—東京—

1月6日、東京・晴海で「ひろげよう防災の輪」をテーマに消防訓練が行われました。東京消防庁職員をはじめ消防団員、都民など4000名、ポンプ車200台が参加。会場では都民、消防職員による消火、救助訓練が真剣に行われていました。昨年度の都内の火災件数は6935件。これから本格的な火災シーズンを迎えます。火の扱いには充分気をつけたいものです。

竹下改造内閣スタート

竹下改造内閣が昭和63年12月27日発足しました。改造人事は首相官邸に竹下首相を中心に党四役が集まり進められました。この結果宇野外相ら留任の5閣僚を含め閣僚経験者が20閣僚中11人を占める実務型内閣となりました。新人の中で文部大臣に西岡武夫氏、厚生大臣に小泉純一郎氏、運輸大臣に佐藤信二氏と、それぞれ親子二代大臣の座を射止めました。しかしリクルート疑惑に関係がないといていた長谷川法相がリクルートから献金を受けていたことで就任4日目で辞任する羽目になり、念願の消費税を成立させたとはいえ、これからの政治改革、ふるさと創生、日米、日ソの外交問題などに意欲を見せる竹下首相にとって厳しい改造内閣のスタートとなったようです。

新元号「平成」

—天皇陛下崩御—

天皇陛下は昭和64年1月7日午前6時33分十二指腸がんのため吹上御所で崩御されました。87歳のご生涯でした。昨年9月19日に吐血されて以来、体内出血とご高齢による衰弱のため絶対安静状態がつづき、侍医団の大量輸血による治療も及びませんでした。

昨年8月15日、戦没者追悼式に出席された時の天皇陛下のお姿とおことばです。

現人神、戦争、敗戦、占領、人間宣言、そして繁栄と在位62年余にわたって明暗の歴史を描いた「激動の昭和」は天皇のご逝去とともに幕を閉じたのです。

政府は1月7日午後、首相官邸で臨時閣議を開き、新元号を決定、発表する小淵官房長官。「新元号はへいせい（平成）、平和が達成されるという意味がこめられています。」

昭和にかわる新元号「平成」は1月8日から施行され、新しい天皇に皇太子明仁親皇が125代目の天皇として即位されました。一般の告別式に当たる「大喪の礼」は2月24日東京・新宿御苑で国葬として行ない、当日は休日とすることに決めました。

悲しみの中にも新しい時代が動き始めたようです。